

# 同窓会会報

熊本大学医学部保健学科 第8号



熊本大学医学部保健学科第9回同窓会総会后記念写真（平成24年7月7日）

目次	同窓会会長あいさつ	1
	保健学教育部長あいさつ	1
	卒業生の寄稿	2
	在校生の寄稿	4
	職場紹介	5
	同窓会総会議事録	6
	特別講演	7
	卒業生表彰	8
	平成23年度卒業生の進路状況	8
	国家試験合格状況	9
	保健学科教員紹介	9
	同窓会会則・細則	10
	同窓会役員	11
	編集後記	11

## 平成25年度同窓会総会、特別講演 および懇親会のご案内

平成25年7月6日（土）14時より、第10回保健学科同窓会総会、特別講演ならびに懇親会を開催いたします。場所は熊大医学部保健学科です。是非、皆様のご予定に入れていただきご参加をお待ちしております。

住所変更の場合は、下記にご連絡ください。

TEL：096-382-1177（小野高速印刷）

メール:kumamoto@ohp.co.jp(小野高速印刷)

## ご挨拶

保健学科同窓会会長 **橋田昌弘** (熊本大学医学部附属病院 医療技術部)

日頃から、同窓会に対しご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。平成24、25年度の同窓会会長を拝命しました熊本大学病院の橋田です。浅学非才の身ですが、一生懸命頑張りたいと思います。皆様の大きなご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

同窓会会長に就任し、同窓会の役割(目的)を整理しました。下記の3項目に集約されると思います。

### 1) 橋渡しの場の提供

卒業生と保健学科、卒業生と在校生、各施設(病院)と保健学科等の橋渡し。

### 2) 在校生への支援

### 3) 同窓生間の情報交換の場の提供

上記の役割を達成できるように、努力したいと思っています。しかし、毎年7月の同窓会総会、講演会、懇親会の参加者が少なく、寂しい状況が続いています。参加者数の増加のためには魅力ある内容が必要と思っています。どうか、同窓生の皆様のご意見、ご要望をお聞かせ頂ければ非常に助かります。「わがまま」でもno problemです。皆様と一緒に作る同窓会を目指したいと思っています。

私は、診療放射線技師学校12期生(昭和54年卒)です。看護学校と臨床検査技師学校は、短期大学部へ移行する前の最終学年になりますが、放射線学科は開設が1年遅れましたので、放射線技師学校ではラスト前の学年になります。短期大学部から保健学科へ移行しても、校舎はそのまま使用されましたので、短大卒の方には「学び舎」があります。しかし、それ以前の卒業生には、もう「学び舎」は有りません。卒業後30年以上経過していますので、校舎がなくなることは当たり前のことかもしれませんが、一抹の寂しさがあります。ただし、校舎(建物)はなくなっても、学生時代の友との絆、そして思い出は残っており、同窓会に参加するたびに懐かしく蘇ってきます。思い出に浸るのは、歳をとったためかもしれませんが……。皆様、是非とも、同窓会に参加して、思い出を思い返して下さい!!

今後とも、よろしく、お願い申し上げます。

## 保健学科の現況

熊本大学医学部保健学科長 **富口 静 二** (熊本大学大学院生命科学研究部先端生命医療科学部門・医療技術科学講座)  
熊本大学大学院保健学教育部長 熊本大学医学部保健学科・放射線技術科学専攻

4月より保健学科長(保健学教育部長兼任)に就任しました。本来なら同窓会会員の方には就任の挨拶状をお送りすべきですが、本稿をご挨拶に代えさせていただきます。

保健学科は看護学専攻、放射線技術科学専攻および検査技術科学専攻の3専攻で構成されております。現在、国家試験合格率および就職率は全国トップクラスです。保健学教育部の前期課程には看護系に11分野の専門看護師(CNS)養成コースの内、精神看護分野にのみコースを設けています。今後、在宅看護およびがん看護分野にコースを増やす予定です。放射系では医学物理士養成コースを設ける予定です。徐々にですが、学部学生の前期課程への進学希望者が増えています。文科省は、前期課程と後期課程の一環教育を望んでいるのですが、出口の問題もあり、この点は今後の課題です。

全国的には他にもいくつか課題が検討されています。3年次編入試験に関するもの、CNSコースに関するもの

が主なものです。3年次編入試験は看護系では社会人を対象とし、保健師や助産師資格の取得を目的としたものです。しかし、3年制専門学校の卒業生の受験および合格者が多いのが現状です。そこで、編入試験の廃止も検討されていますが、一定数の受験者がいるので廃止は難しい状況です。また、保健師、助産師資格が同時に取得できましたが、今はいずれか一方しか取得できないので、今後受験者数が減少するかもしれません。CNSコースに関しては、修得単位数の増加に対する対応が課題です。さらに、大学院生の定員確保に、大学病院看護部と保健学科教官との人事交流が重要な課題です。本保健学科でも、人事交流を検討しています。養成学校の増加で、養成には数よりも質が問われています。本学科でも、優秀な学生の確保や教育の改善に尽力したいと思います。

現在、激しく変化する社会に対し、その存在価値を認識させるために、大学改革実行プランが策定されます。今後の改革に対応できるように本学科の運営に当たります。同窓会会員の皆様のご協力も宜しくお願い致します。



## 卒業生の寄稿

### 熊本県菊池保健所に保健師として勤務して

熊本県菊池保健所保健予防課

溝上 栄美 (保健学科看護学専攻 4期生)

私は、高校時代より保健師として働くことを希望しており、平成19年4月に熊本大学へ進学し、昨年5月より熊本県菊池保健所で保健師として勤務しております。本年度は、主に未熟児の病院・家庭訪問、高等学校への出前講座等の母子保健・思春期保健事業を担当しています。業務の中で、赤ちゃんやその母親、また病気や障がいを持ちながらも地域で生活している児・者との関わりを通して、家族の存在の大きさ、病気を持っていても地域で暮らす素晴らしさ、それを支える関係者の力などを日々感じています。

保健師2年目の新米保健師ですが、ベテラン保健師に囲まれてのびのびと仕事に取り組んでいます。若さと元気を武器に、何事にも常に挑戦し続ける保健師でありたいと思っています。

保健師として働くことを希望して保健師になった私ですが、就職前と就職後では、保健師に対する思いや考え方も大きく変化しました。自分が就職前に思っていた保健師は保健師業務の氷山の一角であり、見えない業務が多くあると痛感しています。日々保健師の業務の幅広さに驚きながらも、ベテラン保健師に指導を仰ぎながら業務に取り組んでいます。

医療はチームで提供するものであり、また地域には医療職だけでなく、保健・福祉の様々な機関が存

在します。地域で活躍する保健師にとって、地域で生活する人々を支えるためには、保健・医療・福祉の他職種の連携が必要不可欠です。まずは、その地域について知り、他職種とコミュニケーションを取り、関係性を構築することが大切だと考えます。

また、保健所で勤務をする中で、病気や障がいを持つ人達と関わる機会も多いため、『予防』の重要性を痛感しています。今後も公衆衛生の視点を常に忘れずに、『予防』の観点を常に持ち続け、保健師として勤務していきたいと考えます。

### あっという間の4年

国立病院機構 大分医療センター 研究検査科

松尾 祐一 (保健学科検査技術科学専攻 2期生)

私は就職してから4年となります。国立病院機構九州ブロックに就職して大分県勤務となり、臨床検査技師としての経験はまだまだ少ないのですが、多くのことを学びました。就職してからの1,2年は仕事を覚えることで必死でした。1年目は検体検査を行い、2年目は病理検査と細菌検査を行いました。そして、3年目からは大学院に通うようになり、昼は病院で仕事をして、夜からは大学に通っています。年が変わる毎に仕事内容も変わり生活リズムも変わりとても苦勞をしましたが貴重な3年間であっという間でした。職場の方には色々迷惑をかけて、大学院にも通わせていただき本当に感謝してい



ます。4年目からはほぼ毎日夜遅くまで研究を行うという生活にも慣れ、最近では研究も趣味のように楽しめています。

研究室には2名の留学生が在籍しています。家族を国に残して日本に来た方です。一人異国で頑張っている姿を見て非常に刺激になります。今まで海外には全く興味がなかったのですが、彼らの影響で今では海外に行き様々なことを感じたいと思うようになりました。就職してからまだ4年しかたっていませんが仕事以外でも多くのことを学び感じることができました。

部署が変わり様々な分野を経験することができましたが、これからは専門性を突き詰めていきたいと思っています。直近の目標としては微生物の認定資格を取ることと、博士号の取得を目標としています。そして、市販の試薬などを使い検査するだけでなく、新たな知見を発見し、臨床に応用できるような臨床検査技師を目指して頑張りたいと思っています。

最後になりましたが、保健学科同窓会の益々の発展と同窓生の皆さんの活躍をお祈り致します。



## 先生と後輩、私たち

(社) 熊本市医師会 熊本地域医療センター医師会病院  
森島 光浩 (医療技術短期大学部診療放射線技術学科 3期生)

7月、熊本大学医学部保健学科同窓会総会に出席しました。総会時に各専攻の紹介と、現在の学生に対する教育のあり方及び方針、研究、授業の様子、特別講演などの講演がありました。また、検査技術科学分野の修士課程の学生の発表、特に放射線技術学専攻の博士課程(後期)の橋田会長自らの「55のてならい」の発表は印象的でした。現在は、大学院ができ、修士課程、博士課程が設置され充実した教育と研究が展開されることは本当にうらやましい限りです。それには、同窓会としての活動を進めることが、重要な役割を果たしてきたことと痛感しました。

個人的な経験では、本大学(旧医療技術短期大学部)を卒業と同時に熊本地域医療センターに就職しました。日々仕事を覚えることに、新鮮さを感じながら、非常に興味があった「画像工学」をもっと深く研究したかったため、当時の吉田日出輝先生の研究室(通称吉田学校)の門をたたきました。毎週1回、英文翻訳から始まり和論文、徹底的に自分の考えを述べ疑問点など夜中まで先生と仲間でディスカッションをやっていました。今もそのことが自分の原動力となり、更なる探究心を「放射線カウンセリング」といった方向へと向け、研究も行っています。

また、当院では本大学の学生を病院実習に迎えています。毎年しっかりと知識を学んできているものの、実習に対しては、もっともっと積極的に学ぶ姿勢と意欲をぶつけてほしいです。学生も目的とやる気それと謙虚さがあると、どんなことでもやりとげられると思います。

最後になりますが、実習が終わってから必ず「就職、進学しても、いつでも相談にのるよ」「学会などで会ったら声をかけてね」といいます。先生(大学)と後輩、私たち(同窓会)のつながりを大事にし、実のあるものにし、患者中心の医療に貢献していかねばならないと考えます。

## 在校生の寄稿

### 病院実習で学んだこと

検査技術科学専攻 4年 合澤 慶昭

先日、熊本大学附属病院と済生会熊本病院での病院実習を行い、数多くのことを感じ、学ぶことができました。その中でも、実習を通じて検査技師が重要な役割を果たしていることを改めて感じました。検査技師は、患者と医師との間をつなぐ役割を担っていることを強く感じました。患者から得られた検体を検査技師が正確に検査を行って、得られた検査結果を適切に読み取り、医師に報告することによって医師の診療を可能にし、患者は必要な治療を受けることができます。もし、検査が適切に行えていなければ、患者に必要な医療が提供されないことになってしまいます。

また、エコー、採血、肺機能検査などでは、検査結果を得るためには、患者に協力してもらうことが必要であり、検査技師としての患者との接し方が大切だと思います。検査技師によって、検査結果が大きく異なってしまえば、患者の状態を正しく判断することができなくなってしまいます。そのため、検査目的や検査方法を十分に説明し、患者の協力を得られるよう言動にも常に注意しなければならないと思いました。患者が適切な医療を受けられるよう、患者と医師をつなぐ検査技師になりたいと思います。

### 臨床実習を終えて

看護学専攻 4年 雄野 裕紀子

大学生活も残り少なくなり、卒業が迫っています。この4年間は長いようで短いもので、あっという間に過ぎていきました。

4年間看護の勉強をしていく中で、人と人との関わり方や、相手をどのように理解していくかを学ぶことができました。一番印象に残っていることは病院や施設での臨床実習です。最初のうちはとても緊張し、実習記録を書いたり自己学習をしていくことがとても大変でした。また、患者さんとの関わり方がわからず、壁にぶつかることも多々ありました。しかし、現場の看護師さんや大学の先生方が丁寧に指導してくださり、患者さんを理解することにつながりました。

実習はとても充実したのですが、実習記録が書き終わらず睡眠不足の日もありました。『1日24時間じゃ足りない』と、何回思ったのか覚えていません。実習を乗り越える一番のコツは、友人や実習メンバーと食事などに行き気分転換をして、次の実習へのモチベーション向上につなげることだと思います。実習で辛かったことや嬉しかったことを一緒に共感し、支え合って乗り越えていくことが大切だと思います。普段仲良くしているメンバーとはまた違って、実習前までは挨拶くらいしかしなかったような人と仲良くなれたりします。看護の実習で友達の輪も広がりました。

卒業後は看護師として働きます。つらくて苦しい時もあると思いますが、この4年間一緒に学んだ仲間たちと支え合って乗り越えたいです。

### 病院実習を通して

放射線技術科学専攻 4年 河野 亜紀

技師の方々がプロフェッショナルとして働く姿を間近で見られたことで、私の描く将来の技師像はよりシャープに、より現実的なものになりました。

病院実習が始まる前は、自分が診療放射線技師として働くことをただ漠然に、というよりむしろ「いづれそうなるのだろう」とどこか自分のことではないように感じていた節があったように思います。いつまでも学生気分で見られるわけではないことは分かっていたのですが、今思うと当時の私は現実・将来と真剣に向き合っていませんでした。

病院実習が始まると、知らなかったことを自分の知識として蓄えられていく楽しさや患者さんに実習生という立場で接する難しさなど、様々な経験が出来ました。また、私たち実習生に対し真摯にご指導して頂いた技師の方々に感謝すると同時に、自分が技師として働くようになった時には、より良い実習となるよう実習生へ出来る限りの指導を行いたいと思いました。

病院実習によって自分が将来働く職場がどのようなものなのかを知ることで、そこで自分はどのような技師として働きたいのかという目標を持つ事が出来ました。そして、残り少ない大学生活の中で、その目標に向かって今出来ることを悔いの無いよう精一杯努力していきたいです。

## 職場紹介

### 国立病院機構 大分医療センター 研究検査科

松尾 祐一 (保健学科検査技術科学専攻 2期生)

国立病院機構大分医療センターは300床の大分市東部地区の中核を担う急性期施設です。年間に850台の救急搬送があり、診療科としては外科、泌尿器科、循環器科、内科、消化器科、呼吸器科、婦人科があります。また、電子カルテの導入や、病院の建て替えなど益々新しくなろうとしている病院です。

私が勤める検査科は13名の臨床検査技師が在籍しており、病理検査室、細菌検査室、生理検査室、検体検査室と分かれています。特に午前中は一日の大部分の検体が届き、様々な診療科がある為に検査項目も多いです。当直勤務も最低でも週1回はあります。また、人が少ないために一人で複数の部署を掛け持ちしており、忙しくしています。

病院の側には海がありイカ、アジ、太刀魚、スズキなどを釣ることができます。私は好きではないのですが…釣り好きには最適な環境だと思います。

### (社) 熊本市医師会

#### 熊本地域医療センター医師会病院

黒田 洋明 (医療技術短期大学部診療放射線技術学科 1期生)

当院は昭和56年11月1日に現在地本荘5丁目に開設されました。診療科は内科、外科、小児科、放射線科、麻酔科、循環器科、脳神経外科で病床数227床、24時間救急体制・地域医療支援病院・熊本県がん診療連携拠点病院・小児救急医療拠点病院として地域医療に貢献しています。特に小児救急医療に関しましては熊本方式と呼ばれ全国的にも有名で、日本各地から視察に見えるほどです。

放射線科医3名、放射線技師11名でCT(2台)・RI・MRI(1.5T)・心カテ・Angio装置を有し、来年度の電子カルテ化に向けて現在準備中です。

実習生の受け入れも行っており、放射線部では臨床実習指導マニュアルを作成し、優秀な技師の育成に尽力を注いでいます。

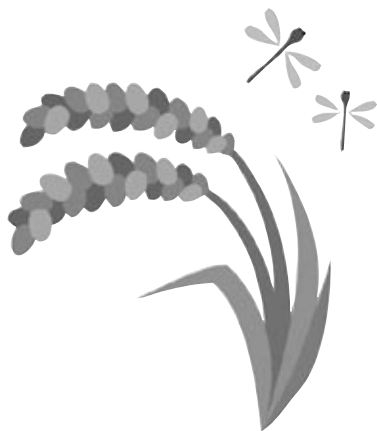
今後とも宜しくお願い致します。

### 熊本県菊池保健所保健予防課

溝上 栄美 (保健学科看護学専攻 4期生)

私は現在、熊本県菊池保健所保健予防課に保健師として勤務しております。現在保健師2年目、主に母子保健事業・思春期保健事業を担当しており、産科医療機関や市町村保健師、養護教諭等と連携し、事業に取り組んでいます。

現在私の所属する職場には、保健師と管理栄養士がいます。また、保健所全体を見ると、医師・薬剤師・獣医師・検査技師・行政職等、他職種が所属しています。保健所の主な役割として、危機管理対応があります。そのような際に多くの専門職種がそれぞれの役割を果たし、対応していく必要があります。そのため、日頃から各課各職種とコミュニケーションを取り、連携することに努めています。



## 第9回熊本大学医学部保健学科同窓会総会議事録

日 時 平成24年7月7日(土) 14:00~14:30

場 所 熊本大学医学部保健学科講義室(5F)

出席者数 43名

議 長 黒田洋明氏(熊本地域医療センター)

<総会式次第>

開会の辞

同窓会会長挨拶

保健学教育部長挨拶

議長選出

議事

### 1. 平成23年度事業及び会計に関する報告

① 事業報告

② 決算報告

③ 監査報告

### 2. 平成24年度事業計画(案)

### 3. 平成24年度予算(案)

### 4. その他

閉会の辞

## 【 報 告 】



14時、春田副会長より開会が告げられ第9回同窓会総会が開会された。

最初に、橋田昌弘会長が会を代表して挨拶を行い、続いて富口静二熊本大学大学院保健学教育部長のご挨拶が行われた。その後、黒田洋明氏(熊本地域医療センター)を総会議長に選出し、議事に従い4項目の議案の審議が行われた。

### 1. 平成23年度事業報告及び会計に関する報告

宮里前会長より保健学科のオープンキャンパスへの支援や同窓会会報第7号発行等、1年間の事業が報告された。

また、本年度入学生より、入学手続き書類に、同窓会の入会申し込みも同封して送ることができたため、入会率を向上することができたと報告があった。

松本会計幹事より23年度の会計について決算状況



会場風景

が報告された。

その後、東監事より平成24年3月28日に行った会計の監査結果について、適正であったとの報告が行われた。

質問なども無く、出席者の賛成多数で平成23年度事業報告、決算報告並びに会計監査報告は賛成多数で承認された。

### 2. 平成24年度事業計画(案)について

橋田会長より、24年度事業計画(案)について説明があり、昨年同様の事業を計画していると報告があった。

また「今後、同窓会に何をしてほしいかの意見を皆さんから出してほしい。そしてそれを次の事業計画に生かして行きたい」との会長の発言があった。

### 3. 平成24年度予算(案)について

24年度予算(案)について松本会計幹事より説明があった。

また、追加発言として、宮里前会長より、支出の中で、同窓会連合会の会費が入会后しばらくは、1万円だったが、昨年より規模を考慮して仮に5万円となり、本年度正式に人数などで計算して、6万円負担することが決定したとの事であった。そのため昨年は1万円少なかったため、本年度は1万円多い7万円を支出して、来年度から、6万円になると報告があった。

その後、質問無く、採決を行い、参加者の賛成多数で平成24年度事業報告(案)、平成24年度会計予算(案)は承認された。

### 4. その他

会場、役員からの発言は無かった。

以上で、議案審議が全て終了し、議長は、降壇した。最後に、春田副会長より閉会の挨拶があり、14時30分に終了した。

尚、この後、各専攻紹介、KKTアナウンサー本橋馨氏による「テレビタよもや話」と題した講演会を行い、その後、懇親会が行われた。

平成24年7月7日

議事録署名人 肥合 康弘



## 特別講演

### 「笑いの健康学」

本橋 馨 (KKTアナウンス部)



週末を中心に、県内各地の公民館や学校などに呼んで下さることが多く、様々なテーマで講演をさせていただいています。「子育て」「農業」「男女共同参画社会」「地域の絆」など求められるテーマは毎回違うのですが、最近私が力を入れているのは「笑い」の力です。

今回は医療関係者の皆さんですから、医療に関する題材を選ぼうかとも考えたのですが、医療関係のプロに、私の薄っぺらい医療知識に基づく話をして興味はわかないだろうと思い、今回のテーマにしました。

「笑い」の力は絶大です。笑いが人の免疫力を高め、NK細胞が活性化されることが医学的にも“実証”されているからです。

1992年、大阪府などが行った実験があります。ガンや心臓病の患者さんに、漫才や新喜劇を見て大いに笑ってもらい、その直前と直後に採血して、がん細胞を攻撃するNK細胞の活性化を調べるといいます。

実験の結果、笑う前にNK活性の数値が低かった人は、すべて正常範囲までアップし、高かった人の多くも正常近くの数値に下がることが確認されました。

つまり、笑いには、ガンに対する抵抗力を高め、免疫機能を正常化させるということ、さらに、免疫機能を薬で活性化させるには一定の時間がかかるのに対し、笑いには、短時間で免疫系を正常化させる生理学的効果があるということが実験結果として出されました。(大阪府発行・大阪発笑いのすすめより)

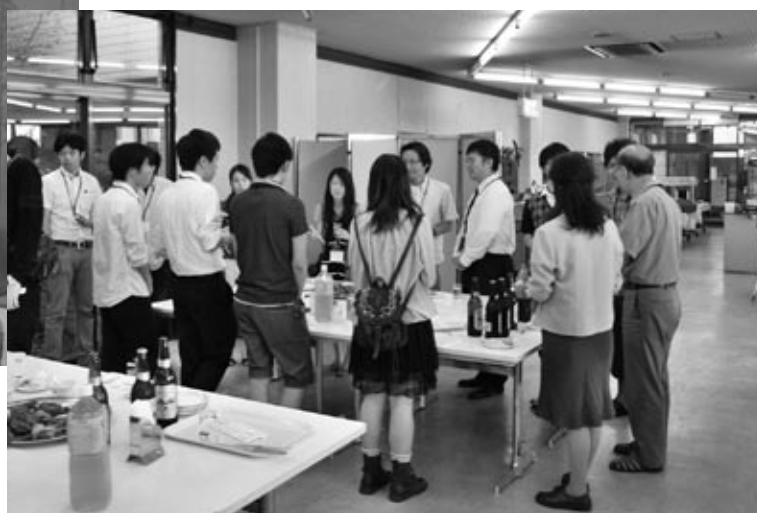
テレビタミンには、人生の喜怒哀楽を感じさせるご意見が毎日たくさん寄せられます。

例えば、20代の女性店員さんが、スーパーで「わけぎ」という小ねぎを持ち上げ、大声で店長に「この“わけぎ”、いくらですかあ〜？」と叫び、お客さんに大笑いされた失敗談！思わず笑っちゃいますよね。

最近の講演では、そんな笑えるご意見を紹介しながら、日々の苦労やストレスが吹き飛ばすような楽しいひと時を一緒に過ごせるようにしています。

「モッチャんのせいで、笑い皺が増えたわよ〜！」と言われることが、私の喜びです。

## 懇親会風景





## 熊本大学卒業生表彰

平成24年11月のホームカミングデーにて熊本大学卒業生表彰が執り行われました。これは今年度から始まったもので、社会における諸活動または同窓会の活動を通じて、熊本大学の発展または社会からの理解促進につながる多大な貢献のあった卒業生に対し、その功績を称えて表彰するものです。熊本大学同窓会連合会および各学部等の同窓会から表彰候補者を推薦し、熊本大学長により選考および表彰されます。

本年度、保健学科同窓会から以下の方々が表彰されました。(敬称略)

- 城 慶子 (熊本大学医学部附属看護学校 昭和29年卒業)  
 尾山 タカ子 (熊本大学医学部附属看護学校 昭和38年卒業)  
 洞田貫 誠志 (熊本大学医学部附属診療エックス線技師学校 昭和42年卒業)  
 熊谷 エツ子 (熊本大学医学部附属衛生検査技師学校 昭和41年卒業)

## 平成23年度卒業生の進路状況等について

H24. 6. 12

看護学専攻 (卒業生78名)		
(就職)		
熊本大学医学部附属病院	熊本県	29
熊本赤十字病院	熊本県	4
福田病院	熊本県	2
済生会熊本病院	熊本県	2
熊本中央病院	熊本県	1
熊本機能病院	熊本県	1
阿蘇温泉病院	熊本県	1
保健支援センター	熊本県	1
熊本県職員	熊本県	1
菊陽町役場	熊本県	1
玉名市役所	熊本県	1
九州大学院	福岡県	4
小倉記念病院	福岡県	2
浜の町病院	福岡県	1
福岡大学病院	福岡県	1
久留米市役所	福岡県	1
北九州市職員	福岡県	1
国立病院機構九州医療センター	福岡県	1
長崎大学病院	長崎県	1
国立病院機構長崎医療センター	長崎県	1
大分赤十字病院	大分県	1
国立病院機構別府医療センター	大分県	1
西都市役所	宮崎県	1
鹿児島大学病院	鹿児島県	1
大阪大学医学部附属病院	大阪府	1
聖マリアンナ医科大学病院	神奈川県	1
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	神奈川県	1
成仁病院	東京都	1
葛飾赤十字産院	東京都	1
東京医科歯科大学医学部附属病院	東京都	1
狭山病院	埼玉県	1
国立病院機構埼玉病院	埼玉県	1
国立がん研究センター東病院	千葉県	1
就職小計		70

(進学)		
熊本大学大学院保健学教育部	熊本県	1
熊本大学養護教諭特別科	熊本県	2
和歌山県立医科大学助産学専攻科	和歌山県	1
他大学院		1
進学小計		5
放射線技術科学専攻 (卒業生40名)		
(就職)		
健康保険八代総合病院	熊本県	2
熊本大学医学部附属病院	熊本県	1
くまもと乳腺胃腸外科病院	熊本県	1
再春荘病院	熊本県	1
熊本循環器科病院	熊本県	1
熊本赤十字病院	熊本県	1
日赤健康管理センター	熊本県	1
杉村病院	熊本県	1
健康保険人吉総合病院	熊本県	1
新古賀病院	福岡県	3
福岡記念病院	福岡県	1
浜の町病院	福岡県	1
南川整形外科病院	福岡県	1
やましたクリニック	福岡県	1
国立病院機構九州ブロック	福岡県	1
大牟田天領病院	福岡県	2
産業医科大学病院	福岡県	1
健康保険諫早総合病院	長崎県	2
佐世保中央病院	長崎県	1
長崎労災病院	長崎県	1
佐賀大学医学部附属病院	佐賀県	1
佐賀社会保険病院	佐賀県	1
大分赤十字病院	大分県	1
宮崎大学医学部附属病院	宮崎県	1
鹿児島大学病院	鹿児島県	2
南風病院	鹿児島県	1
北野病院	大阪府	1
東京女子医科大学病院	東京都	1
就職小計		34

(進学)		
熊本大学大学院保健学教育部	熊本県	5
進学小計		5
検査技術科学専攻 (卒業生39名)		
(就職)		
熊本大学医学部附属病院	熊本県	2
済生会熊本病院	熊本県	2
熊本県医師会心臓検診センター	熊本県	2
熊本中央病院	熊本県	1
熊本県総合保健センター	熊本県	1
にしくまもと病院	熊本県	1
高野病院	熊本県	1
熊本県職員	熊本県	1
天草地域医療センター	熊本県	1
高木病院	福岡県	4
セントマザー産婦人科医院	福岡県	2
CRC	福岡県	1
相生会博多クリニック	福岡県	1
新行橋病院	福岡県	1
日本赤十字社九州血液センター	福岡県	1
福岡和白病院	福岡県	1
医療法人天神会	福岡県	1
九州中央病院	福岡県	1
九動株式会社	佐賀県	1
宮崎大学医学部附属病院	宮崎県	1
潤和会記念病院	宮崎県	1
相良病院	鹿児島県	2
国分生協病院	鹿児島県	1
鹿児島市立病院	鹿児島県	1
聖隷福祉事業団	静岡県	1
羽島市民病院	岐阜県	1
就職小計		34
(進学)		
熊本大学大学院保健学教育部	熊本県	4
熊本大学大学院医学教育部	熊本県	1
進学小計		5

## 国家試験合格状況

試験種類	受験年度	本学新卒者			全国（含既卒者）		
		受験者数 （人）	合格者数 （人）	合格率 （%）	受験者数 （人）	合格者数 （人）	合格率 （%）
看護師	19	65	65	100.0	51,313	46,342	90.3
	20	65	64	98.5	50,906	45,784	89.9
	21	72	72	100.0	52,883	47,340	89.5
	22	71	70	98.6	54,138	49,688	91.8
	23	70	69	98.6	53,702	48,400	90.1
保健師	19	74	70	94.6	11,055	10,066	91.1
	20	77	77	100.0	12,049	11,773	97.7
	21	84	81	96.4	13,048	11,295	86.6
	22	80	75	93.8	14,819	12,792	86.3
	23	78	74	94.9	15,758	13,555	86.0
助産師	19	14	13	92.9	1,722	1,690	98.1
	20	17	17	100.0	1,742	1,741	99.9
	21	16	9	56.3	1,901	1,579	83.1
	22	14	14	100.0	2,410	2,342	97.2
	23	14	13	92.9	2,132	2,026	95.0
診療放射線技師	19	25	22	88.0	2,444	1,789	73.2
	20	43	34	79.1	2,547	1,896	74.4
	21	39	39	100.0	2,460	1,969	80.0
	22	36	35	97.2	2,409	1,712	71.1
	23	39	38	97.4	2,528	2,109	83.4
臨床検査技師	19	27	27	100.0	3,997	2,947	73.7
	20	38	37	97.4	3,701	2,657	71.8
	21	33	32	97.0	4,060	2,753	67.8
	22	30	30	100.0	3,959	2,652	67.0
	23	37	35	94.6	4,012	3,027	75.4

## 保健学科教員紹介

（平成24年9月現在 五十音順）

### ◆看護学専攻

#### 【基礎看護学講座】

教授：前田ひとみ 森田敏子  
講師：木子莉瑛 永田まなみ  
助教：有松 操 南家貴美代

#### 【看護教育学講座】

教授：花田妙子  
准教授：角田俊治  
助教：福山美季

#### 【臨床看護学講座】

教授：宇佐美しおり 木原信市 国府浩子  
准教授：柊中智恵子 谷口まり子 中尾富士子  
助教：梅木彰子 村上美華

#### 【母子看護学講座】

教授：宮里邦子 山内葉月  
准教授：坂梨京子  
講師：寺岡祥子  
助教：生田まちよ 千場直美 吉田佳代

#### 【地域看護学講座】

教授：上田公代 西阪和子 東 清巳  
准教授：永田千鶴  
助教：日浦瑞枝 松本佳代 松本千晴

### ◆放射線技術科学専攻

#### 【医用理工学講座】

教授：白石順二 富吉勝美 船間芳憲  
准教授：内山良一 米田哲也  
助教：辻田直子

#### 【医用画像学講座】

教授：荒木不次男 伊藤茂樹 富口静二  
佛坂博正 村上龍次  
准教授：島村正道  
助教：肥合康弘

### ◆検査技術科学専攻

#### 【構造機能解析学講座】

教授：二科安三 羽山富雄 柳沼裕二 吉永一也  
講師：伊藤雅浩  
助教：橋本弘司

#### 【生体情報解析学講座】

教授：乾 誠治 奥宮敏可 棚瀬純男 三森龍之  
准教授：畑 裕之  
助教：田崎雅義 森 信子

# 熊本大学医学部保健学科同窓会会則・細則

## 熊本大学医学部保健学科同窓会会則

### 第1章 総則

- 第1条 本会は、熊本大学医学部保健学科同窓会（以下「本会」という。）と称する。
- 第2条 本会は、事務局を熊本市中央区九品寺4丁目24番1号 熊本大学医学部保健学科に置く。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校との連携を保ち、その教育の支援と発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 一 会員相互の親睦及び研修に必要な事項
  - 二 母校の教育の支援・発展に関する事項
  - 三 その他必要と認められる事項
- 第5条 本会は、必要に応じて各専攻等を単位とする分科会を置くことができる。
- 2 分科会の設置及び運営に関する事項は、理事会の承認を経て各分科会が定める。

### 第2章 会員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- 一 正会員
    - イ 熊本大学医学部附属看護学校、熊本大学医学部附属助産婦学校、熊本大学医学部附属エックス線技師学校、熊本大学医学部附属診療放射線技師学校、熊本大学医学部附属衛生検査技師学校、熊本大学医学部附属臨床検査技師学校を卒業又は在籍した者
    - ロ 熊本大学医療技術短期大学部を卒業又は在籍した者、熊本大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻を修了又は在籍した者、熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程を卒業又は在籍した者
    - ハ 熊本大学医学部保健学科（以下「本学科」という）を卒業又は在籍した者並びに在学生
    - ニ 熊本大学大学院保健学教育部（以下「大学院」という）を修了又は在籍した者および在学生
  - 二 特別会員
    - イ 本学科教員
    - ロ 本学科及び前項の学校の元教員
    - ハ 前項以外のもので理事会の承認を得た者
- 第7条 会員が死亡または会員たる資格を喪失したときは、退会したものとみなす。
- 第8条 会員が、本会の名誉を傷つけ、または本会の趣旨に反する行為をしたときは、総会において出席会員の4分の3以上の議決により、これを除名することができる。
- 第9条 正会員は、会費（終身）として1万円を本学科入学および大学院入学時に納入するものと

する。ただし、退会または除名された会員が既に納入した会費、その他の拠出金は返還しないものとする。

### 第3章 役員等

- 第10条 本会に次の役員を置く。
- 一 会長 1名
  - 二 副会長 2名
  - 三 理事 12名  
（看護6名、衛生3名、放射3名）とする。
  - 四 幹事 7名
  - 五 会計 2名
  - 六 監事 2名
- 第11条 役員は次の職務を行う。
- 一 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
  - 二 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
  - 三 理事は、会員の代表として本会の運営に当たる。
  - 四 幹事は、本会の実務に当たる。
  - 五 会計は、本会の会計事務に当たる。
  - 六 監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する。
- 第12条 役員は、次により選出又は委嘱する。
- 一 会長は、総会において正会員の中から選出する。
  - 二 副会長は、会長が正会員の中から推薦し委嘱する。
  - 三 理事は、正会員の中から専攻毎に選出し会長が委嘱する。
  - 四 幹事は、会員の中から会長が委嘱する。
  - 五 会計は、正会員の中から会長が委嘱する。
  - 六 監事は、理事会において正会員の中から推薦し、会長が委嘱する。
- 第13条 役員は、任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠による役員は、前任者の残任期間とする。
  - 3 役員は、任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行うものとする。

### 第4章 名誉会長及び顧問

- 第14条 本会に名誉会長を置き、保健学教育部長を推戴する。
- 第15条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会の議を経て会長が委嘱する。
- 2 顧問は、重要事項について会長の相談に応ずる。

### 第5章 会議

- 第16条 総会は、原則として毎年1回開催し、次の事項を審議決定する。
- 一 事業及び決算報告
  - 二 事業計画及び予算



## 平成24年度熊本大学医学部保健学科同窓会名簿

- 名誉会長：富口静二（熊本大学大学院保健学教育部長 熊本大学医学部保健学科長）
- 会長：橋田昌弘（熊本大学医学部附属病院 医療技術部）
- 副会長：肥合康弘（熊本大学医学部保健学科）  
春田昭一（済生会熊本病院）
- 理事：
- （看護） 田中シゲ子（旧医療技術短期大学部教員）  
本 尚美（熊本大学医学部附属病院 看護部）  
田中紀美子（九州看護福祉大学）  
小藺真知子（熊本保健科学大学 言語聴覚学専攻）  
大澤早苗（熊本保健科学大学）  
宮里邦子（熊本保健学科）
- （放射） 荒木不次男（熊本保健学科）  
和田博文（済生会熊本病院）  
羽手村昌宏（熊本大学病院医療技術部）
- （検査） 増永純夫（熊本中央病院）  
前田 浩（熊本市民病院中央検査部）  
中村直子（熊本大学生命資源研究・支援センター）
- 幹事：
- （看護） 南家貴美代（熊本保健学科）  
村上美華（熊本保健学科）  
倉田侑生子4年在学生（熊本保健学科看護学専攻）
- （放射） 辻田直子（熊本保健学科）  
河野亜紀4年在学生（熊本保健学科放射線技術科学専攻）
- （検査） 田崎雅義（熊本保健学科）  
高島裕子（元熊本大医学部附属病院 医療技術部）
- 会計：松本佳代（熊本保健学科）  
吉田佳代（熊本保健学科）
- 監事：熊谷エツ子（元熊本大保健学科教員）  
右田香魚子（元熊本大医学部附属病院 看護部）

## 編集後記

去る7月12日、「これまでに経験したことのないような大雨」と表現された豪雨が熊本県北部を襲い、甚大な被害をもたらしました。同窓会会員の皆様、あるいはご親族やお知り合いの中には被災された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

一方では、夏季オリンピックやパラリンピック、夏の選抜高校野球が開催され、日本選手や高校球児の懸命な姿、支えてくれた周囲の人々に対するメダリストたちの感謝の言葉に大きな感動と勇気をもたらした方も多かったのではないのでしょうか。

高校野球ではアルプススタンドを埋め尽くした黄色の大応援団に驚くとともに、濟々費高校の130年の歴史の中で育まれた在校生、同窓生の愛校心、団結力を見せつけられたような気がしました。

保健学科の前身の一つである熊本大学医学部附属看護学校は昭和26年に改称され、約60年が過ぎました。附属看護学校始め、助産婦学校、エックス線技師学校、臨床検査技師学校、医療技術短期大学部、特別教科（看護）教員養成課等々の諸先輩方が作り上げてこられた60数年におよぶ歴史と伝統を保健学科学生が受け継ぎ、今後もさらに発展させていってくれるものと思います。

保健学科としては来年、開学10周年を迎えます。10年という節目の年であり、これまで以上に心に残る総会、懇親会にしたいと同窓会役員一同、張り切っております。来年の同窓会総会、懇親会は例年通り、7月第1土曜日に開催致します。新旧様々な皆様の元気な笑顔にお目にかかれることを楽しみにしております。

（保健学科同窓会役員：田崎雅義、辻田直子、南家貴美代）

- 三 会則の制定及び改廃  
四 役員を選出  
五 顧問の推挙  
六 その他の必要と認める事項

2 会長は、総会を召集し、理事会の議を経て前項に定める事項を提案する。

第17条 会長は必要と認めるとき、臨時総会を開催することができる。

第18条 総会の議長は、出席会員の中から選出する。

第19条 総会は、日時、場所、付議すべき事項等を示して召集する。

第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ文書をもって意見を表示することができる。

第21条 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。

第22条 総会は、議事録を作成し、これを保存する。

第23条 理事会は、会長、副会長、理事及び幹事によって組織する。

第24条 理事会は、会長が必要と認めるとき、又は理事の5分の2以上の要求があったときに開催する。

第25条 理事会は、会長が召集し、議長は会長がこれにあたる。

第26条 理事会の議事は、出席者の過半数で決する。

第27条 理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

## 第6章 会計

第28条 本会の経理は、会費及び寄付金、その他の収入を持って充てる。

第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

附 則 この会則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 この改正は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 この改正は、平成20年4月1日から施行する。

## 熊本大学医学部保健学科同窓会会計細則

1 同窓会費は1万円とし、本学科入学および大学院入学時に一括納入することを原則とする。

2 本学科同窓会費は、同窓会運営費として使用する。運営費以外に使用する場合は、同窓会理事会の承認を必要とする。

3 金融機関への振込手数料は、会員の負担とする。

4 金融機関に同窓会の口座を設け、会計が通帳・印鑑を管理する。

5 同窓会費の徴収は、入学時に行い、徴収後は速やかに同窓会費支払者名簿を作成する。

6 会計は、会計年度終了時に速やかに決算報告書を作成し、監査を受ける。

7 本細則の改正は、同窓会総会で行う。

附 則 この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 この改正は、平成20年4月1日から施行する。